

## 今こそ伊予市発信の地球温暖化防止に向けた実践を

### 問

一・現時点での温暖化防止の実態は。  
二・市民の共有財産たる土地に平然と設置された電気使用量が多い飲料自販機を撤去する考えはないか。  
三・行政財産目的外使用の許可を受け、責任は当該者にある。しかし、公有地上の設置であるから不測の事故発生時の明文化規則は存在するのか。

### 答

中村市長

一・平成十七年度に伊予市地球温暖化対策実行計画を策定し、市役所及び市の公共施設で平成十六年度に調査・算出した二酸化炭素の排出量を、



武智 邦典 議員

二十二年度までに4・3%削減する目標を掲げている。具体的なお取組として、空調、照明、OA機器等の省エネ化、また冷暖房機の温度設定、昼休みの消灯等削減に向けた取組が実行されているが、再度計画の見直しの検討と排出量の調査を実施していく。

二・設置希望者から行政財産目的外使用申請書が提出され、可否について検討、適切と判断した場合に許可している。現時点での自販機の撤去は考えていない。

### 答

市民福祉部長

三・許可証の付加条件に、設置した自動販売機に故障、盗難、破壊等の事故が生じたときは、管理者の責任で対処しなければならぬという文言がある。しかし管理上、屋根が落下する様な事故が起こった場合等について明文化されていない。事故発生時には管理責任が問われるので、団体と市が協議して対処したい。

### 問

行政トップの政治的モラルについて

他市町で問題視された公用車利用での旅費の二重取りと報道された件について問う。

一・当伊予市では、そのようなことはなかったか。  
二・もしあったとすれば、前議会で報告しなかったのか。  
三・公用車での旅費受領に関し、今後条例等で罰則規定を作成される考えはないか。

### 答

中村市長

一・過去五年間の出席状況を調査したところ、愛媛県市町村職員共済組合と愛媛県国民健康保険団体連合会から、合計四万四千七百円の旅費が確認されたので、十月初旬までに全額を返還している。また、他の公的三団体から、計三千四百二十円の旅費を受領しており、これも返還した。

旅費受給について認識不足から不適切な受領があったことは明らかであり、心からお詫びを申し上げたい。

また、陳謝の時期が遅れた件に関しては、八月三十一日付、愛媛新聞に県内市町長の旅費受領について記事が掲載され、直ちに事実確認作業や返還手続きを進め、十月初旬に完了したことから議員、市

民の皆さんへの報告が遅くなり、大変申し訳なく思っている。

今回の件に関しては、行政トップとして深く反省するべき問題であり、批判についても真摯に受けとめ、今後厳しく自らを律しながら職務にまい進する所存である。

## 市発注工事の執行について

### 問

本市も三千万円以上は一般競争入札に切り替えた。透明性の高まりが期待できる。

一・唐川地区農業集落排水施設整備事業は全体額で一億一千万円程度と推測するが、なぜ五件に分け三千万円以下の指名競争入札で執行したのか。  
二・入札をわざわざ二回に分けて時間差を設けた理由を問う。

### 答

中村市長

一・工事の分割については、地元建設業を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、中小企業基本法第三条に掲げる基本理念に則り、国等の契約の方針に基づき予算、納期、管理等を勘

案して最適の方法を決めている。

地元建設業者の受注の機会が増大につながるものと確信しており、この分割が最適、最良の発注規模と考えている。  
二・入札の時期について、管渠布設工事は主に県道大平砥部線に下水道管を埋設するもので、道路掘削により片側通行など交通規制を行わなければならない。

同時期に数カ所の交通規制による不便・迷惑が予想され、これらをできるだけ軽減するため、発注時期を遅らせた。



唐川地区農業集落排水施設工事現場

## その他の質問事項

・伊予市健康診断における、がん検診の要精検率について  
・予算組立前に、財政指標を議員に報告する義務について